



## 北中生へ 今こそ、心を一つに

### 世界一の体育大会とは

世界一の体育大会とは。  
何でもない事が完璧にできる体育大会。

何でもない事とは。  
移動する時も手を抜かず駆け足で走る。  
話を聞くときは話している人をしっかりと見る。  
グラウンド内にいる時は無駄な話をしない。  
グラウンド内にいる時は、体操服に付いた土をはたいたりしない。

そんな何でもないことを一つひとつ完璧にやる。  
それをやり切ることで、一回り、二回り成長することができる。  
そしてその経験は、自分の力となり、将来プラスに働く。

結団式。心を一つにして迫力のある声を体育館に響かせた北中生。  
その北中生が「世界一の最高の体育大会にしよう」と再び心を一つにすれば、何でもないことを完璧にすることはすぐにできる。

そして今日の全校練習。先週までのゆるい空気から、引き締まった空気が変わってきた。  
動きがぐんと良くなった。完璧に近づいてきた。  
練習はあと4日ある。

### 「利己の心」と「利他の心」

「利己の心」とは、「自分だけがよかったいい」と考えること。

「利他の心」とは、「まわりの人を助けよう」と考えること。

「利己の心」で行動すると、自分ことしか考えないので、誰も協力してくれない。そして何事も、うまくいなくなくなる。

「利他の心」で行動すると、まわりの人を助けるので、いろんな人が協力してくれるようになる。だからうまくいくようになる。

体育大会でも「私語をしようが、何をしようが、自分だけがよかったらいい」と「利己の心」で行動すれば、いずれ一人ぼっちになり、誰からも相手にされなくなる。

「体育大会で実行委員やみんなのために自分ができることは何か」と「利他の心」で行動すれば、まわりの人が信頼し、いろんなことに手を貸してくれるようになる。

これは体育大会だけではない。普段の学校生活や家族と過ごす時間などすべてにいえることだ。

「利他の心」を持つ人は将来、幸せに満ち溢れた豊かな人生を送ることができる。

